検挙、大半が少年

小樽署で一斉暴力団狩り

小樽署では十八日午前六時半を期してことし八回目の一せい暴力団狩りを行い、二十五人を検挙、うち八人を逮捕、十七人に任意出頭を求めて取調べた。

こんどの手入れの特徴は二十五人の検挙者のうち少年が半数以上の十四人も占めていることで、ささいなことでなぐる、けるの乱暴を働いており高校生が九人もいる。これらは学校にも行かずに怨かつしたりケンカしたりで学校側でも手を焼いているもの。検挙者つぎのとおり。

【逮捕】◇傷害＝市内豊川町四七日雇金子栄一(三七)＝八月二十一日午後十一時ごろ市内豊川町四〇の路上で通行中の市内豊川町四九大工生田和夫さん(三七)にささいなことでいんねんをつけて顔をなぐり全治一週間の傷を与えたもの。

◇同＝市内奥沢町二ノ三二バーテンO少年(一九)＝八月二十二日午後八時ごろ市内奥沢町二の路上で通行中の同市花園町西四の一四会社員山本信彌さん(三三)にささいなことでいんねんをつけ、そばにあった棒きれで鼻をなぐり全治一週間の傷を与えたもの。

◇同＝市内入舟町八ノ六無職有福晶(三七)＝八月十二日午前二時ごろ市内最上町五五機械修理工美濃重利さん(四九)が借りていた金を払いに行ったところ抵当に取っていたラジオを有福が売ったことから口論となり、有福は美濃さんの顔をなぐり全治一週間の傷を与えたもの。

◇同＝市内砂留町七五無職A少年(一九)＝八月二十九日午前零時半ごろ市内花園町西三ノ一九路上を通行中の市内夕見台町一公務員笹野浩さん(三五)にささいなことでいんねんをつけ笹野さんの持っていたコウモリをとってなぐり傘に全治一週間の傷を与えたもの。

◇暴行＝市内宮岡町一ノ七トビ職秋本健一(三八)＝八月一日午前三時半ごろ市内稲穂町西六ノ九路上で通行中の市内最上町六トビ職岡嶽さん(三七)に〝同業者ならいっぱい飲ませろ〟とたかり岡さんが断ると〝なまいきだ〟といってなぐる、けるの暴行を加えたもの。

◇同＝市内南高島町一五六日雇玉谷進(二)＝八月十三日午後九時五十分ごろ市内南高島町七ノ三路上で通行中の市内南高島町一〇八漁夫笠丸光新さん(三九)にささいなことでいんねんをつけ笠丸さんの持っていたコウモリをひったくり顔を数回なぐったもの。

◇恐かつ＝市内南赤岩町一六二無職田中巽(二)＝八月二十四日午後七時ごろ市内花園町東一ノ五稲荷小路で通行中の市内緑町三ノ四中学校三年生I少年(一五)に〝時計を売って五百円かせ〟といって断られるや、おどかして1少年の腕時計一個六千円相当をとったもの。

◇詐欺＝市内住之江町五ノ一四無職中村良吉(三五)＝十七日午後九時半ごろ市内花園町東二ノ一一簡易料理店〝パラオ〟＝経営者土屋シゲ子さん(三七)＝方でビールなど二千四百七十円相当の無銭飲食をしたもの。

【任意出頭】◇傷害＝市内手宮町一ノ二五家具職人平山明秀(三三)◇同＝市内末広町三〇家具職小坂敏

人語る

伊藤整氏（作家）

輪島市三郎さん(五四)

塩谷町一八八・農業

幼なじみ

①

○…整（ひとし）ちゃんが私の家の近所に引越してきたのは小学校に入るまえでしたから、五つ六つのころだったでしょうか。女の子のようなきゃしゃなからだつきが妙に都会のにおいを感じさせ田舎育ちの私らにはちょっと場違いのような子でした。なんでも整ちゃんのお父さんは根っからの職業軍人で日露戦争当時には勲功をたて金鵄勲章をいただいた勇士でした。陸軍少尉で退役し当時の塩谷村の収入役をしていましたが、田舎としては裕福なうえ、その当時生意気盛りにあった塩谷小学校にカスリの着物にハカマをつけて通っていたのは、村長さんと駅長さんの子に整ちゃんくらいのもので、私なんぞはとども心にもうらやましく思っていたものでした。

○…小学校の六年間は同じ教室で机を並べた仲でした。私の家と五軒しか離れていなかったので毎朝私が整ちゃんを迎えに行き、学校が退けると小川でカジカをとったり、山でクリを拾ったり、小鳥を追っかけたり、まあ当時の田舎の子らしい遊びに興じたものです。校長先生はK先生といって第一銀行の小樽支店長や札幌支店長をつとめられた渡部馬さんのお父さんでした。学校ではいま歌志内の炭鉱病院長をしている飯田左内という子がいつも一番で級長をしていましたが、整ちゃんは私なんかとよく遊びまわったものですが、生れつき頭がよかったのでしょう、二番で副級長をしていました。理科とか算数とか習字が不得手でしたが、つづり方、国語、図画などは抜群で、やはりあのころからオ能のひらめきはあったのだと思います。田舎の腕白小僧とはハダが合わないというのか、おとなしすぎるというのか、よく悪童どもが〝貧ッ少尉〟といっていじめましたが、全然とりあおうとせず〝ちちゃ山に行こう〟と私を誘って山や海に出かけたのをおぼえています。

○…整ちゃんが小樽中学に汽車通するようになり、私が塩谷駅に勤務するようになってからも幼いころの友情が延長されました。整ちゃんは眼鏡をかけるようになり、ますます青白く、インテリくさくなりましたが、汽車通仲間の女学生にさわがれるとほおを赤らめてはずかしそうに逃げ出すばかりでした。純情そのものの中学生だった整ちゃんが後年『チャタレー夫人の恋人』で世間をアッといわせようとは夢にも考えおよびませんでした。やがて小樽高商に進んだ整ちゃんは例の天然パーマでよく似合ってハンサムな青年になりましたが、このころから詩や小説を書くことに熱中していたようです。高商の学生時代から新潮社あてで自分の作品をさかんに送っていたのをおぼえがあって、後年どれだけつくが知っているをえるようにごった態度が

旧制市立中学の英語教師時代の伊藤整氏

都会的感じの美少年

とか新潮社とときには抜小樽に帰りつけのた「死」前は

労

小樽労基署を対象に職る。この調立労働科学を労働科学明するため

【速報】◇傷害＝市内豊川町四七日雇金子栄一(三七)＝八月二十一日、ラジオを有福が売ったことから口論の末、殴ったとの旨、市内末広町三〇家具職小坂敏(二五)＝市内末広町三〇家具職小坂敏(二五)＝八月二十一日、ラジオを有福が売ったことから口論の末、殴ったとの旨、

国交を回復しよう

日中関係打開市民大会

日中関係打開小樽市民大会は米道中の社会党書記長浅沼稲次郎氏を迎え、二十五日午後五時半から市議事堂で約五百人の市民を集めて開かれた。

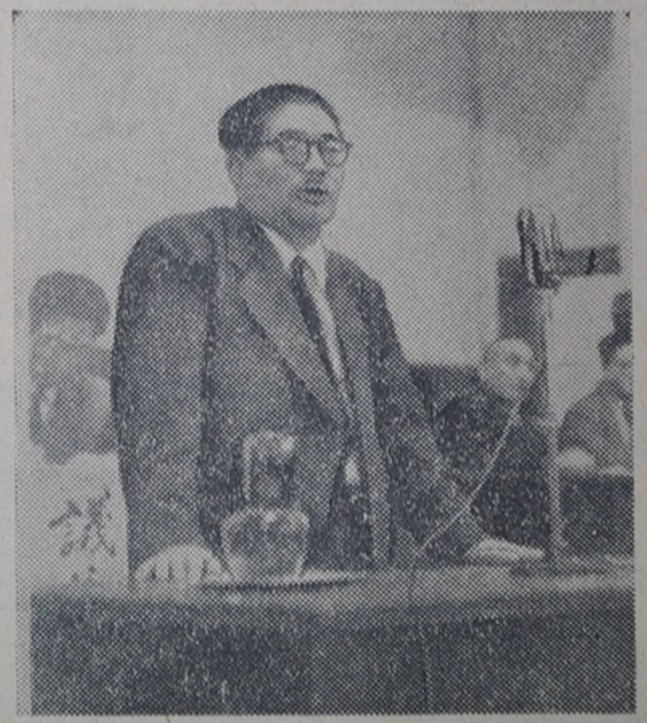
参会者のほとんどはサラリーマン、学生で〝なんとか日中関係を打開しよう〟という浅沼書記長、横路代議士、共産党西館道地方委員長、自民党前野小樽支部代表らのあいさつを拍手で迎えたあと議事に移り

①第四次日中貿易協定の完全実施。②松武装と軍事基地反対。③日中国交回復促進。

の三項目と〝中国に対する敵視政策をやめ速やかに国交を回復しよう〟など七項目の大会宣言を満場一致で確認して七時すぎ大会を終えた。なお浅沼書記長のあいさつ要旨つぎのとおり。

技術を持った日本と資源豊かな中国とが経済的、文化的に交流することがアジアの発展であり岸内閣にも国民の声としてこの要望を反映させるべきだ。

あいさつする浅沼書記長



樽病などの審査意見書

小樽市監査委員戸井正三、吉川英次の両氏は二十五日安達市長あてに三十二年度の小樽病院事業会計と上下水道の事業会計の決算審査意見書を提出した。

これによると樽病については三ヵ月（一月―三月）間の実績で一応黒字を出しているものの、むしろ企業会計の実施で帳簿類の基礎をつくった努力を買うべきであるとし、上下水道については経費の処理方法に問題があるが経費内容はいちじるしく改善されたとしている。

悪い。

▽体長組成　△ホッケ＝ホッケの体長組成は二十四㌢が最も多く二両親に対する希望では親の態度に関するものが一番多く（二四七）なかでも〝子供と一しょに

ほしい

学年別

幼なじみ ⑥

筆禍事件で一時退学

人間味があって情熱的

南亮三郎氏（中大教授）

○…人口論で有名な南氏は小樽高商を大正九年に出て東京商大に進み卒業後母校の小樽高商で経済原論、社会政策を講じた。

昭和二年から五年までドイツのフライブルク大学に留学、十八年には人口論の研究で経済学博士の学位をえ、二十三年退官しその後道立経済研究所長に就任、社会党小樽支部長をつとめたり道知事の候補にあげられたこともある。二十八年中大教授となり現在にいたっているが、小樽高商在学中三年間をともにした戸井、吉川両氏が当時の南氏について

きいた。

○…南君はねー、まじめなヤツでしてね、高商では三年間いっしょだったが卒業直前に彼はいったん退学させられて結局一年おくれたんですよ。というのは筆禍事件で当時小樽毎夕新聞の社説に彼の論文〝社会主義者を検挙するまえに〟というのが載ったんですよ。南と新聞の編集責任者が検挙されました。この論文の内容は〝米騒動で政府は社会主義者がせん動したとして片っぱしから捕えているがこれでよいだろうか。人間の生きんとする欲望が絶対的であるというのが真理であるならば、生活が苦しくなるとせん動しなくても爆発するのは当然ではないか。社会主義者にだけ罪を着せて検挙するのは間違いだ〟というものでした。米騒動は全国的な大事件で中等野球も中止したほどでしたからね。南君はこれで罰金を食いました。のちに大赦にあいましたが、このため一時退学したってわけです。

筆禍事件で学校はびっくりして図書館のマルクス関係の本をかくしてしまい、南君は涙を流さんばかりにフンガイして演説していました。クラスメートを感動させたものです。こういう情熱的なところに南君の特長がありました。当時は景気のよいころで学生も市内を飲み歩いたりしたものですが、彼はまじめでしたよ。

○…南君は経済原論を担当していましたが小林多喜二も習ったはずです。ある会合で南君が所感を述べて〝社会主義になっても人口問題は解決するものではない〟と発言したところ、同席の小林が〝マルクスの本をかくしたら人間味があって情熱的だ〟と書いてくれたんです。南君がゆけば社会主義者になるとの春風を対象に〝職場目的かつ補導し果がつ導方法もとづ

小極職

和歌山日ドッしは天ミカン昨年の

長あてに三十二年度の小樽病院事業会計と上下水道の事業会計の決算審査意見書を提出した。

これによると樽病については三ヵ月（一月―三月）間の実績で一応し、上下水道については経費の処理方法に問題があるが経費内容はいちじるしく改善されたとしている。

幼なじみ ⑥

南亮三郎氏（中大教授）

筆禍事件で一時退学

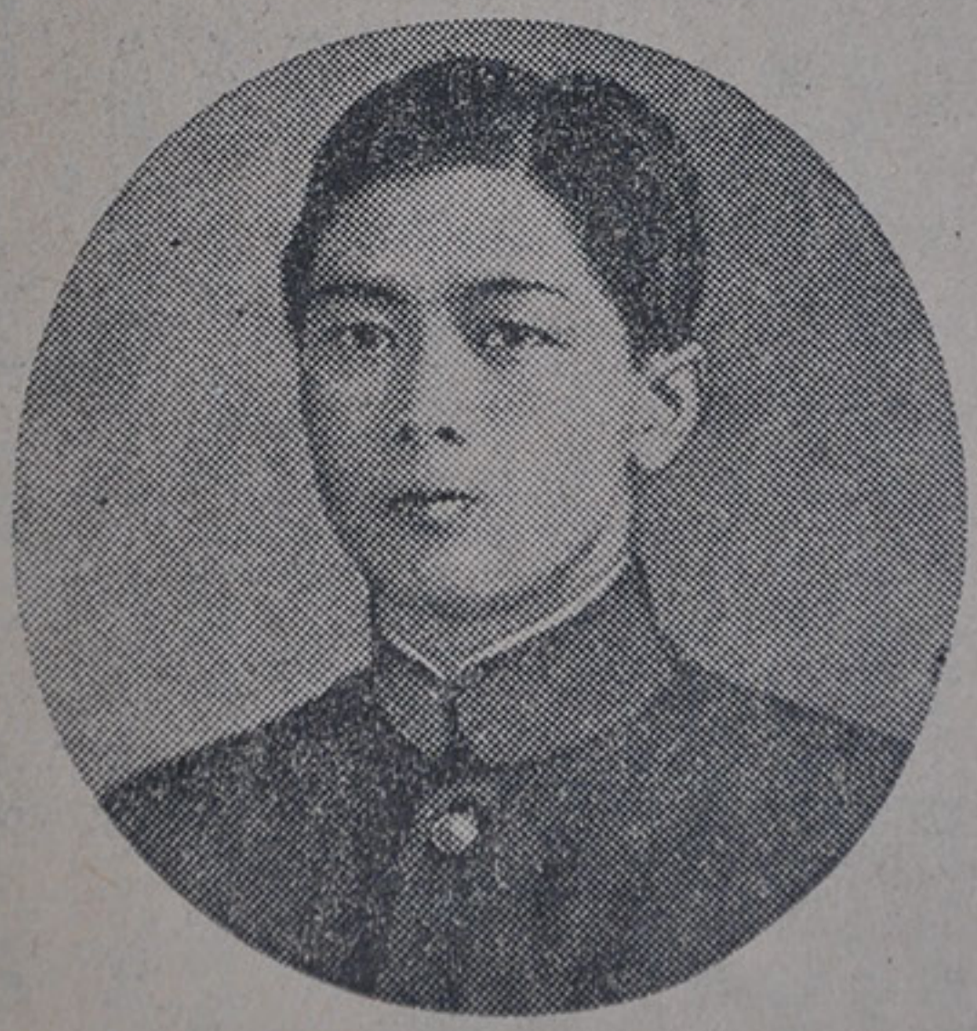
人間味があって情熱的

○…人口論で有名な南氏は小樽高商を大正九年に出て東京商大に進み卒業後母校の小樽高商で経済原論、社会政策を講じた。

昭和二年から五年までドイツのフライブルク大学に留学、十八年には人口論の研究で経済学博士の学位をえ、二十三年退官しその後道立科学研究所長に就任、社会党小樽支部長をつとめたり道知事の候補にあげられたこともある。二十八年中大教授となり現在にいたっているが、小樽高商在学中三年間をともにした戸井、正三氏に若き日の南氏について

きいた。

○…南君はねー、まじめなヤツでしてね、高商では三年間いっしょだったが卒業直前に彼はいったん退学させられて結局一年おくれたんですよ。というのは筆禍事件で当時小樽毎夕新聞の社説に彼の論文"社会主義者を検挙するまえに"というのが載ったんですよ。南と新聞の編集責任者が検挙されました。この論文の内容は"米騒動で政府は社会主義者がとして片っぱしから捕えているがこれでよいだろうか。人間の生きんとする欲望が絶対的であるというのが真理であるならば、生活が苦しくなるとせん動しなくても爆発するのは当然ではないか。社会主義者にだけ罪を着せて検挙するのは間違いだ"というものでした。米騒動は全国的な大事件で中等野球も中止したほどでしたからね。南君はこれで罰金を食いました。のちに大赦にあいましたが、このため一時退学したってわけです。筆禍事件で学校はびっくりして図書館のマルクス関係の本をかくしてしまい、南君は涙を流さんばかりにフンガイして演説していました。クラスメートを感動させたものです。こういう情熱的なところに南君の特長がありました。当時は景気のよいころで学生も市内を飲み歩いたりしたものですが、彼はまじめでしたよ。



小樽高商学生時代の南氏

○…南君は経済原論を担当していましたが小林多喜二も習ったはずです。ある会合で南君が所感を述べて"社会主義になっても人口問題は解決するものではない"と発言したところ、同席の小林多喜二が食ってかかり"マルクスは社会主義時代になったら人口問題が解決するなどと書いていない"といい返すと南君がゆっくりと"マルクスだけが社会主義の学者ではない。そう書いている学者もいるんだよ"と即座に数名の学者をあげて説明しました。学問の方では実力があったんですね。

○…スキーが上手でスキー一家だし、柔道もやっていました。二十五年間苦米地さんの家の前を通って高商に通いながら一度も苦米地さんの家へ寄らなかったそうです。昔の同僚が久しぶりに訪ねてくると何のために訪ねてきたのかフシギがるというから変っています。非社交的といえばいえるでしょう。こうしたことで誤解される面もありますが、人間味があって正直で純情で学生たちには好かれています。なかなかいいヤツですよ。

語る人

戸井正三氏（ペン）

花園町東三ノ六・計理士

目的から就職先の各事業所を訪問補導していたが、このほどその結果がつぎのようにまとまった。補導方法は質問紙に記入させそれにもとづいて話合うというやり方だ三年の一学期から少しずつ準備を始めたというのはわずかしかいないというノンキさ。したがってほとんど学校の先生と就職についての個別的な話合いもせず自分の意